



NOCE、日本人作曲家に初挑戦!

今回の定期では、20世紀の作曲家の作品を2曲取り上げます。冒頭の「弦楽のための三楽章(トリプティーク)」を作曲した芥川也寸志(1925-1989)は文豪・芥川龍之介の長男で、黛敏郎、團伊玖磨と共に戦後日本の音楽の土台を造った人。映画「八甲田山」、大河ドラマ「赤穂浪士」など、映画や放送の分野でも活躍しました。NHK「音楽の広場」でのダンディにして軽妙洒落な司会ぶりをご記憶の方も多いことでしょう。(トリプティーク)は代表作の一つです。

2曲目を書いたセルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)は、ロシア生まれ。「古典交響曲」は27歳の時の作品で、その直後プロコフィエフはソヴィエトを逃れて日本経由でアメリカに亡命します。遍歴の末1933年にソヴィエトに戻って以降は、バレエ音楽やオペラを数多く書きました。古典交響曲は「ハイドンが現代に生きていたら書いたような曲」を目指した、20世紀の作品としては大変聴きやすい作品です。

3曲目は、おなじみのフェリックス・メンデルスゾーン(1809-1847)が15歳のときに書いた「交響曲第1番」。こちらには、ベートーヴェンの影響が大きく見られます。古典交響曲と併せて、聴き慣れた古典作品との比べてみるのも一興でしょう。

松原 勝也 まつばら かつや ◎コンサートマスター



1963年東京生まれ。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。クライスラー国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを歴任。これまで、無伴奏リサイタルシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、ジャズミュージシャンとのコラボレーションなど幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ウィグモアホールでのリサイタルを開催、絶賛された。東京藝術大学音楽学部教授。静岡AOIレジデンスクワルテットメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティストティック・アドバイザー。

NOCE | 長崎OMURA室内合奏団

シーハットおおむら(さくらホール)を拠点に県内在住及び出身演奏家等を中心に2003年結成。迫昭嘉を音楽監督として始動。09年よりアーティストティック・アドバイザーに松原勝也を迎える。05年韓国大邱市にて初の海外公演。世界的チェリスタアントニオ・メネセス、ヴィオリスト今井信子とも共演。15年紀尾井ホールにて東京公演。18年FFGホールにて福岡公演。第25回長崎県地域文化章受章、シーハットおおむらの平成22年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞に大きく寄与、14年県民表彰、15年第2回JASRAC音楽文化賞を受賞。19年日本オーケストラ連盟準会員加盟。

受講無料

クラシック音楽入門講座

生演奏とトークを交えながらの
レクチャーコンサート

長崎OMURA室内合奏団 ~コンサート劇的楽しみ法~
クラシックコンサートの舞台裏

4月28日(水) 13時30分~15時30分

会場/長崎市民会館文化ホール 定員/100名

お問い合わせは長崎市民会館
☎095-825-1948(平日9:00~17:00)

<https://ngs-shiminkaikan.jp> 3月1日(月)~31日(水)HPにて受付

出演者・永留 結花(フルート)・池田 祐希(ファゴット)・下条絵里子(ピアノ客演)

長崎OMURA室内合奏団パトロネージュ倶楽部・会員募集中です!

【あなたも「寄付」というかたちで認定NPO法人長崎OMURA室内合奏団を応援しませんか!】

- 寄付を行った個人、法人はパトロネージュ倶楽部の会員となります。
- 寄付として税の優遇が適用されます。
- 確定申告(税額控除を選択)を行うことにより控除されます。

会費 個人: 5,000円/1口
法人: 50,000円/1口

期間 入会月より1年間

- 特典**
- ◎定期演奏会の先行発売
 - ◎主催公演プログラムへのご芳名掲載
 - ◎倶楽部会報誌の送付
 - ◎団員による懇談会へのご優待
 - ◎定期演奏会へのご招待(法人会員様のみ)



今後も安心できる演奏会を楽しむために、「新型コロナウイルス接触確認アプリ」COCOAのインストールを推奨しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoo_00138.html

Google Play



App store



新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。ご来場の皆さまのご協力をお願いします。詳しくは公式ホームページをご覧ください。

